

あなたも

要求を実現してみませんか？

今年の春闘の成果もテーブル交渉だけから生まれたものではありません。現場における徹底した行動が、腰の重い経営者を動かしたのです。

私たちは、今後も現場で声をあげつつ労働者の労働条件向上と中小企業の経営安定を求めていきます。

バラセメント業界・08春闘の成果（抜粋）

- 賃上げ=3,000円 ● 福利厚生資金=40,000
- 日々雇用者の賃上げ=日額400円
- 年間一時金=1,230,000円

勝取った成果を業界全体に広めるのが、私たち産業別労働組合の仕事です。

あなたの加入をお待ちしております

連帯ユニオン労働相談センター TEL.06-6583-5548

セメント輸送に従事する労働者の皆さん



08年の春闘では、不誠実な回答を繰り返す経営側に対して労働側はゼネストを展開し、賃上げ3千円、福利厚生資金4万円を獲得することができました。また、連帯労組は粘り強く個別交渉を展開。単独で年間一時金123万円、日々雇用者の賃上げ日額400円の達成を実現しました。

年間一時金123万円を達成

連帯労組が、セメントバラ輸送業界08春闘で果敢な闘争を展開し

現在、バラセメント輸送に従事する労働者の多くは苛酷な労働環境を強いられています。早朝から夜おそくまで働き、ケガをしても労災にすらしてもらえない。残業代もまともに支給してもらえず、昼休みや有給休暇もとらせてもらえない。重労働をこなしても大半の労働者の年収は400万円台弱。そのような労働環境をつくっている背景は、セメントメーカーがバラセメントの輸送単価を低く抑えるため業界の過当競争を放置し、輸送単価の値崩れを加速させたこと。軽油の高騰やNOX・PM法の施行によってバラセメント輸送業者の負担がさらに増加していること。そういった経済的負担を最終的に押し付けやすい労働者に強いている、というのが構図です。

しかし、実態はセメントメーカーは自らの利益確保に奔走。また、バラセメント輸送業者も日々、受注競争に埋没しているのが現実です。そのようなことから、私たち連帯ユニオンは過去より、バラセメント輸送単価の適正化を求める運動を展開することにも、春闘闘争や個別闘争を果敢に展開してきました。今年08春闘では共同交渉のみならず、個別交渉を果敢に展開。その結果、単独で年間一時金123万円を達成し、日々雇用者の仲間においても賃上げ日額400円を実現しました。このような成果は、労働者の労働条件を向上させたことだけでなく、バラセメント輸送業者に適正なコスト意識をもたせて、結果的に適正な輸送運賃の收受につなげさせていくという成果でもあります。今後、私たち連帯ユニオンは「必要ならどこにも適正なコストをかける」という言葉を含言葉にし、仲間を増やすことにより、春闘の成果を業界内広め労働者の労働条件を高めること。そして、そのような活動を通じて、輸送運賃の適正化や業界の再建を加速させていく所存です。

【発行】全日本建設運輸連帯労働組合近畿セメント支部

2008年9月発行



バラセメントニュース